

# ごみを減らすためにできること

問い合わせ先／市役所環境課ごみ減量係 TEL.76-8135

市では、一般廃棄物処理基本計画(平成26～35年度)を策定し、ごみの減量と資源化に取り組んでいます。



## なぜごみを減らさないといけないの？

ごみを減らすことは限りある資源の有効活用になります。また、ごみを処分するには、多くの費用がかかるほか、焼却施設や埋め立てをする場所が必要になります。現在焼却や埋め立てを行っている施設は、いつまでも使用できません。今の施設を少しでも長く使えるよう、一人一人がごみを減らすことが大切です。

## ごみは減っているの？

皆さんの協力により、ごみの量は減少傾向にあります。計画の目標値では平成35年度までにさらに11%減らす必要があります。

また、燃えるごみの中に資源ごみが約26%含まれています。分別し、有効活用することで、さらにごみを減らすことができます。

## 1人1日当たりのごみの量

	平成24年度 (基準)	平成28年度	平成35年度 (目標)
家庭系処分ごみ (資源ごみ除く)	519g	481g	428g
燃えるごみの中の 資源ごみ混入率	30.4%	25.9%	25.0%

## ごみを減らすために3Rを心掛けましょう

### Reduce (リデュース) ..... ごみを減らす

- ▼計画的に必要な分だけ買い物をする
- ▼マイバッグ・バスケットを持ち歩く
- ▼詰め替え商品や包装の少ない商品を選ぶ
- ▼生ごみを出す前にしっかり水切りする(環境課で水切り袋を配布。数に限りあり)
- ▼「作り過ぎない。食材を上手に使いきる。残さず食べる。」を心掛け、食品ロス(まだ食べられるのに廃棄される食品)を減らす

### Reuse (リユース) ..... 再使用する

- ▼長く使える商品を選んだり、修理したりして、物を大切に使う
- ▼フリーマーケット、リサイクルショップなどを活用する
- ▼子ども用品は、リサイクル広場(稲葉町)内のリユースコーナーに提供したり、譲り受けたりする



### Recycle (リサイクル) ..... 再利用する

- ▼分別ルールを守る▼自治会、子ども会などの地域の廃品回収を利用する
- ▼雑がみ(新聞紙、雑誌、段ボール以外の包装紙やメモ用紙)を分別し、リサイクルする
- ▼生ごみ処理機などで堆肥化する(購入費補助制度あり)
- ▼小型家電は、市役所・渋川福祉センター・東部市民センター・スカイワードあさひ・新池交流館ふらっとに設置されている小型家電回収ボックスに入れるか、リサイクル広場に持ち込む

